

<連絡先>

株式会社 ADEKA
〒116-8553 東京都荒川区東尾久 7-2-35
営業部 TEL 03-4455-2833
研究所 TEL 050-5518-4336

作成 2010. 2. 3
改訂 2021. 4.29
(第 17 版)

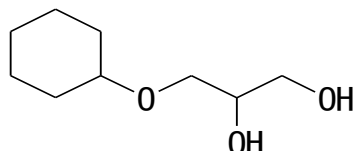
アデカノール CHG

「アデカノール CHG」は、高水溶性で低刺激な多機能性保湿剤です。高純度、低臭気なため、様々な化粧品に配合できます。

製品特徴:

- ・有効成分の浸透補助効果や肌なじみ改善効果 ; 高機能性化粧品に
- ・半永久染料や有効成分の浸透補助効果 ; ヘアケア製品に
- ・不織布への低吸着性 ; フェイスマスクに
- ・高屈折率 ; 透明系化粧品に
- ・乳化系への低影響性 ; 乳液、クリームに
- ・保存効力補助効果 ; 様々な化粧品に

基本情報:



表示名称 : シクロヘキシルグリセリン
INCI 名 : CYCLOHEXYLGLYCERIN
中文名称 : 申請中
CAS No. : 10305-41-6

(安定剤としてトコフェロール 0.1%を含む)

製品物性 :

純度	外観(25℃)	水溶性	屈折率	pH
99.0%以上	無色～淡黄色液状	任意に相溶	1.479	中性

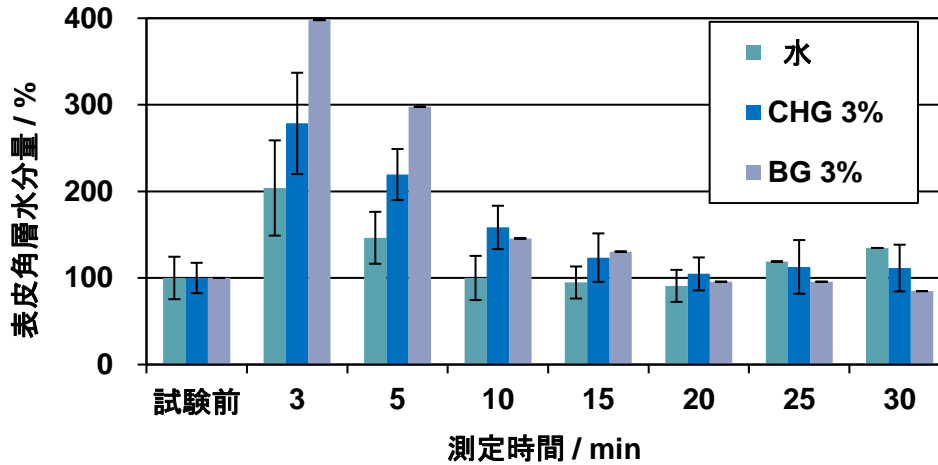
推奨使用濃度 : 1.0～3.0%

The information contained herein is based on our present state of knowledge and is intended to provide general notes on our products and their uses. Any recommendations or suggestions which may be made are without guarantee, since the conditions of use are beyond our control. Furthermore, nothing contained in this publication shall be construed as a recommendation for any use that may infringe patent rights. Readers are cautioned to satisfy themselves as to the suitability of such goods for the purposes intended prior to use. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product.

■本資料中の情報は、ご使用上の便宜を図るための指針を提供する事を目的としており、製品の性能を保証するものではありません。■本資料でご紹介しました用途へのご使用については、知的財産権にご注意願います。■本資料に記載の実験データ等は、記載された条件下で得られた測定値の代表例です。■本製品の取扱いに際しては、化学物質の事故防止のために、安全データシート (SDS) をご確認ください。尚、本資料記載以外の用途にご検討頂く場合は、本製品を安全性に、より有効にご使用頂くために、予め当社担当までご連絡願います。■本資料内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

保湿性

アデカノール CHG は、BG と同等の保湿効果があります。



【測定装置】 皮表角層水分量測定装置 (SKICON-200)

【測定条件】 温度:22℃、湿度:50%

【測定方法】 一辺を 1.5cm に切ったろ紙に試験液 0.1ml を浸み込ませ、測定箇所にて 5 分間貼付する。
ろ紙を外した後、所定時間における表皮角層水分量を測定した。

水溶液に対する溶解度

アデカノール CHG は、メチルパラベンや他の多価アルコールに比べて溶解性が高いです。

		アデカノール CHG	メチル パラベン	カプリリル グリコール	エチルヘキシル グリセリン
水		∞	0.2%	0.3%	0.2%
水溶液	10%EtOH	∞	0.3%	0.3%	0.3%
	10%PG	∞	0.3%	0.3%	0.3%
	10%DPG	∞	0.3%	0.6%	0.3%
	10%BG	∞	0.3%	0.5%	0.2%
	10%グリセリン	∞	0.2%	0.6%	0.2%

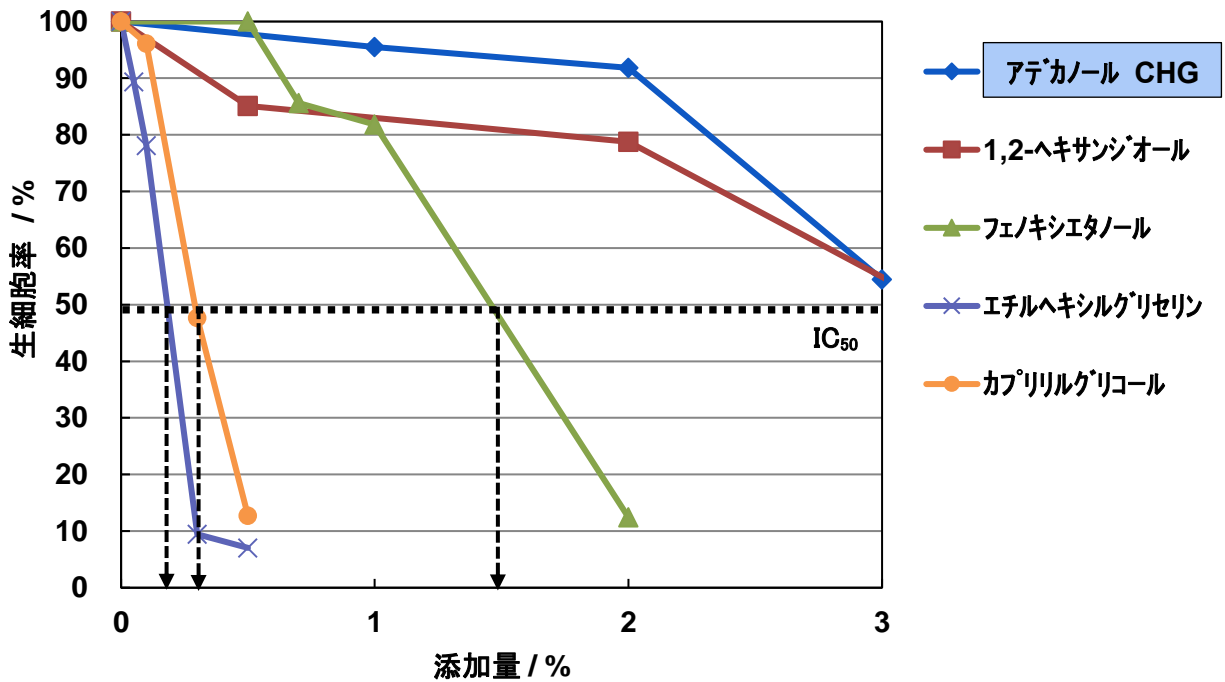
The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効能効果や安全性を保證するものではありません。■本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

刺激性

アデカノール CHG は、推奨使用濃度(1.0~3.0%)においても 50%以上の生細胞率を維持します。

50%細胞障害濃度(IC₅₀)と推奨濃度による刺激判定 :

	IC ₅₀	推奨濃度	推奨濃度における刺激
アデカノール CHG	3.0%<	1.0~3.0%	非刺激性
1,2-ヘキサンジオール	3.0%<	1.0~3.0%	非刺激性
フェノキシエタノール	1.5%	0.4~1.0%	非刺激性
エチルヘキシルグリセリン	0.2%	0.2~0.5%	刺激性
カプリリルグリコール	0.3%	0.1~0.4%	非刺激性~刺激性



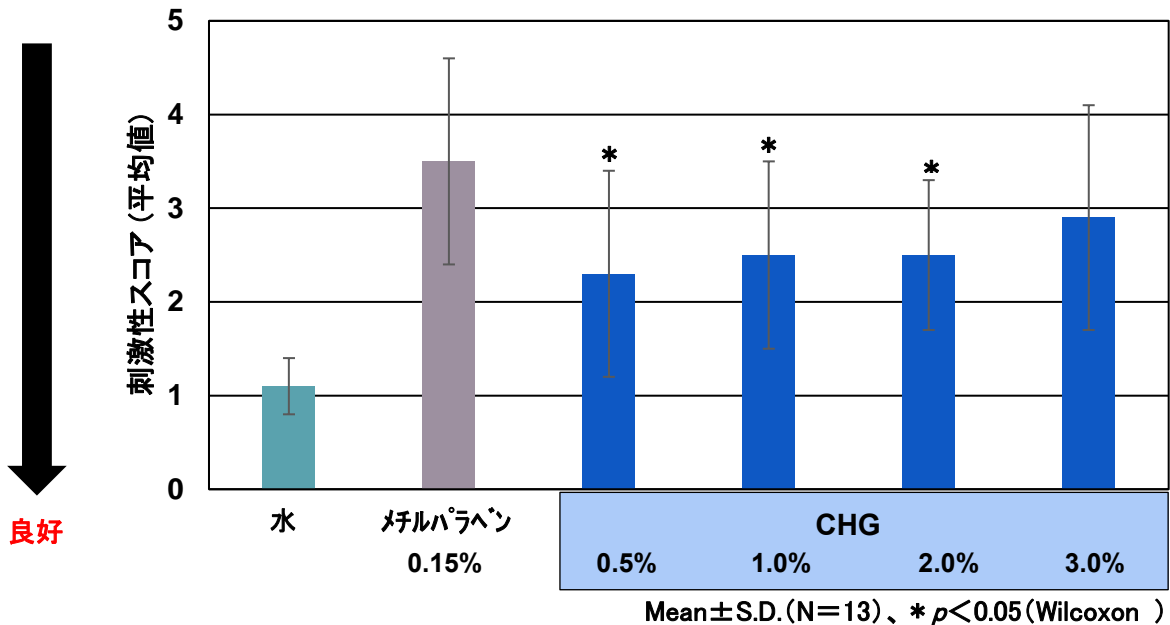
【試験液】 各試験成分を所定濃度となるように水に溶解したもの。

【試験法】 ヒト 3 次元培養表皮モデル((株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング製)に試験成分を添加し、アッセイ培地上で 5%CO₂、37℃、24 時間育成した。その後、MTT 添加アッセイ培地に移し、更に 5%CO₂、37℃、24 時間育成した。最後に着色したヒト 3 次元培養表皮モデルをイソプロパノールで抽出し、吸光度より生細胞率を算出した。

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement. ■ 本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での機能効果や安全性を保证するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

ステインギング

アデカノール CHG は、メチルパラベンと比べて低刺激です。



【試験概要】 ポジティブコントロールとして0.15%メチルパラベンを同時に評価した。0.15%メチルパラベンの刺激を正當に評価した被験者を有効被験者とし、有効被験者から得られたスコアについて有意差検定を行い、コントロールおよび試験試料間の差を評価した。

【試験詳細】 ステインギング刺激を認知することの出来る13名を被験者とし評価を実施した。

- ①クレンジング(1回)と洗顔(2回)を行った後に、0.15%メチルパラベン水溶液1~2mLを含浸させたコットンを、顔面頬骨の上のせた。
- ②①の処理を2回行った。
- ③処理後、試料を十分にのせたコットンを顔面頬骨の上に置き、30秒間静置し、その後30秒間に感じる刺激感を下記の基準にしたがって、スコア化した。

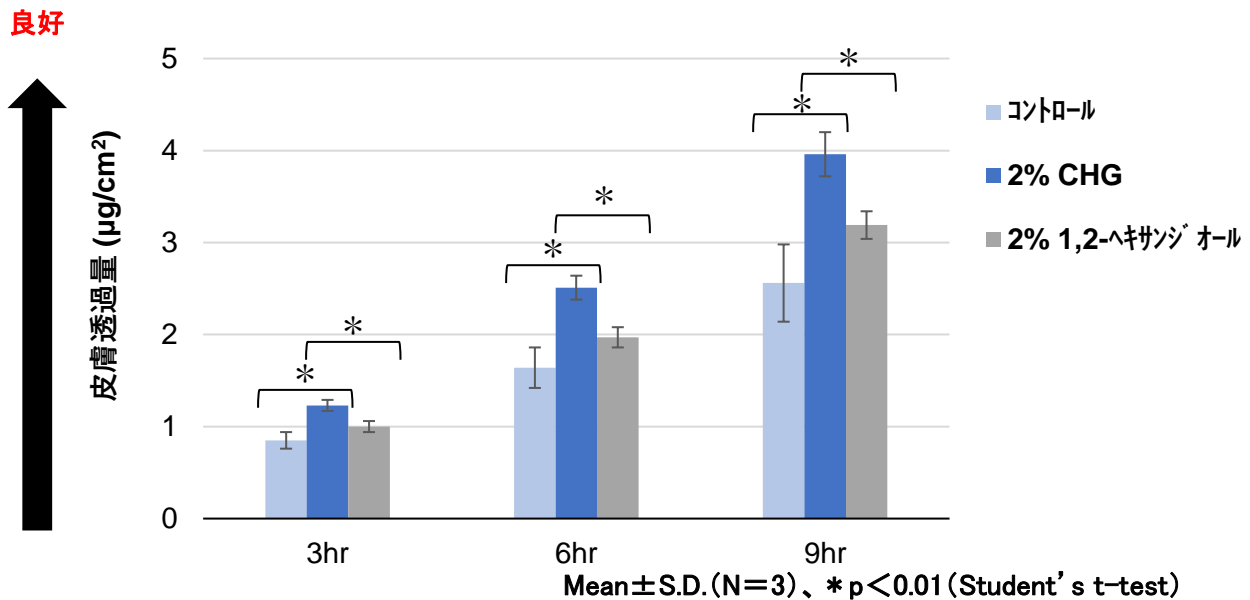
【スコア基準】

- 1: まったく何も感じない
- 2: 微妙になにか刺激らしいものを感じる
- 3: 軽い刺激感を感じる
- 4: 強い刺激感を感じる
- 5: 頬の上に置いておけないぐらいの刺激感を感じる

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■本情報の化粧品原料品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効能効果や安全性を保證するものではありません。■本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

皮膚への有効成分の浸透促進効果

アデカノール CHG は、1,2-ヘキサンジオールと比べてリン酸 L-アスコルビルマグネシウム等の有効成分の浸透補助効果があります。



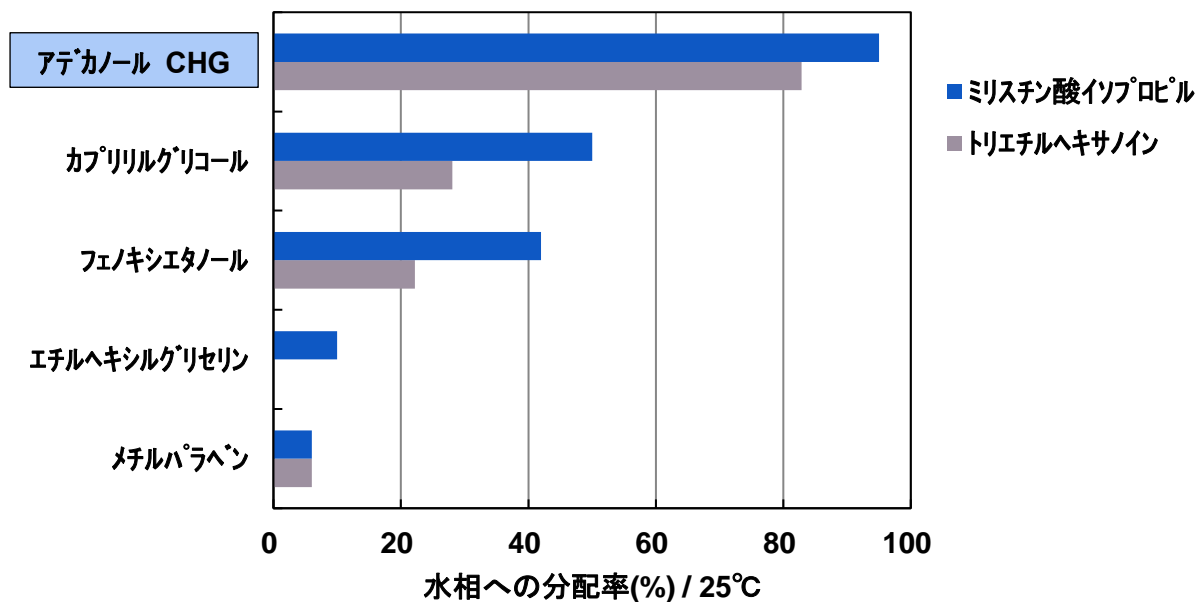
- 【試験液】
1. コントロール ; 1% VC-PMg PBS 溶液
 2. アデカノール CHG ; 1% VC-PMg + 2% アデカノール CHG PBS 溶液
 3. 1,2-ヘキサンジオール ; 1% VC-PMg + 2% 1,2-ヘキサンジオール PBS 溶液

【試験詳細】 12 穴プレートの各ウェルに、レセプターとしてリン酸緩衝生理食塩水 (PBS) を 2 mL 添加した後、培地で一晚順化した 3 次元培養表皮モデル (EPISKIN 社製, EpiSkin™-LM) を設置した。次に試験液 1~3 を表皮モデルの角層側から 0.15 mL 滴下した後、37°C で静置し、3 時間後、6 時間後、9 時間後にそれぞれ、レシーバー液 0.20 mL の採取及びリン酸緩衝生理食塩水 (PBS) 0.20 mL の補充を行った。24 時間後、レセプター液及び EpiSkin を回収し、EpiSkin の表面を洗浄した。さらに、洗浄後の EpiSkin へ精製水を加え Tissue Lyser で粉砕し、遠心分離して上澄みの抽出液を得た。レシーバー液及び抽出液中の VC-PMg の含有量をそれぞれ HPLC により定量することで、VC-PMg の透過量を求めた。以上の試験を各々 3 回行い、平均値を算出した。

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■ 本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

水相-油相の分配率

アデカノール CHG は、メチルパラベンや他の多価アルコールに比べて水相への分配率が高いため、油性成分の影響を受けにくく、クリーム処方に有用です。



【試験方法】 水:油性成分=1:1 の混合液に試験成分が 0.05%になるように加え、ガスクロマトグラフィーにより水相への分配率を求めた。

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■ 本情報の化粧品原料品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

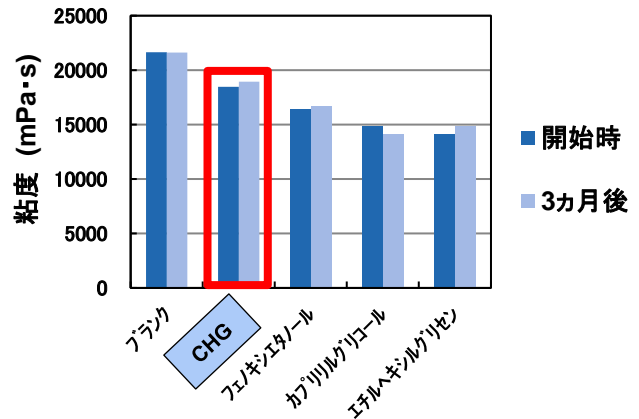
乳化安定性

アデカノール CHG は、乳化安定性が良好で粘度への影響が少ないです。
 フェノキシエタノールやエチルヘキシルグリセリン等に CHG を併用することで、乳化系をより安定に
 します。





O/W クリームの外観
 保存安定性試験 (50°C×30 日間) 後



O/W クリームへの影響 (25°C)



CHG 併用による効果 : 【保存安定性試験 (50°C×7 日間) 後】

フェノキシエタノール 0.5% 単独	フェノキシエタノール 0.5% +CHG 0.5% 併用
 分離あり	 分離なし
エチルヘキシルグリセリン 0.5% 単独	エチルヘキシルグリセリン 0.5% +CHG 0.5% 併用
 分離あり	 分離なし

O/W クリーム処方 :

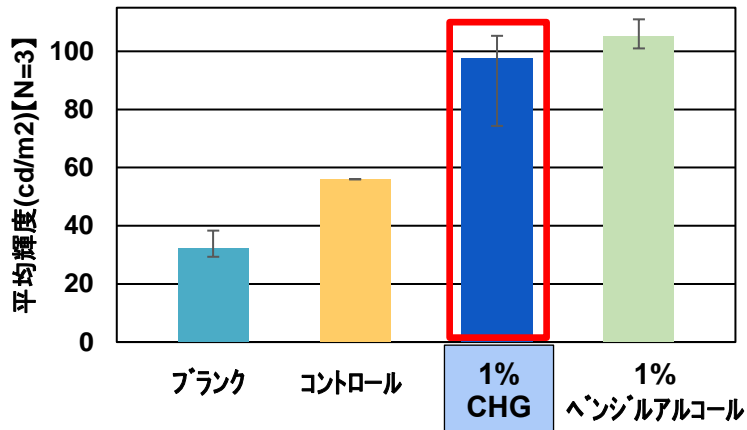
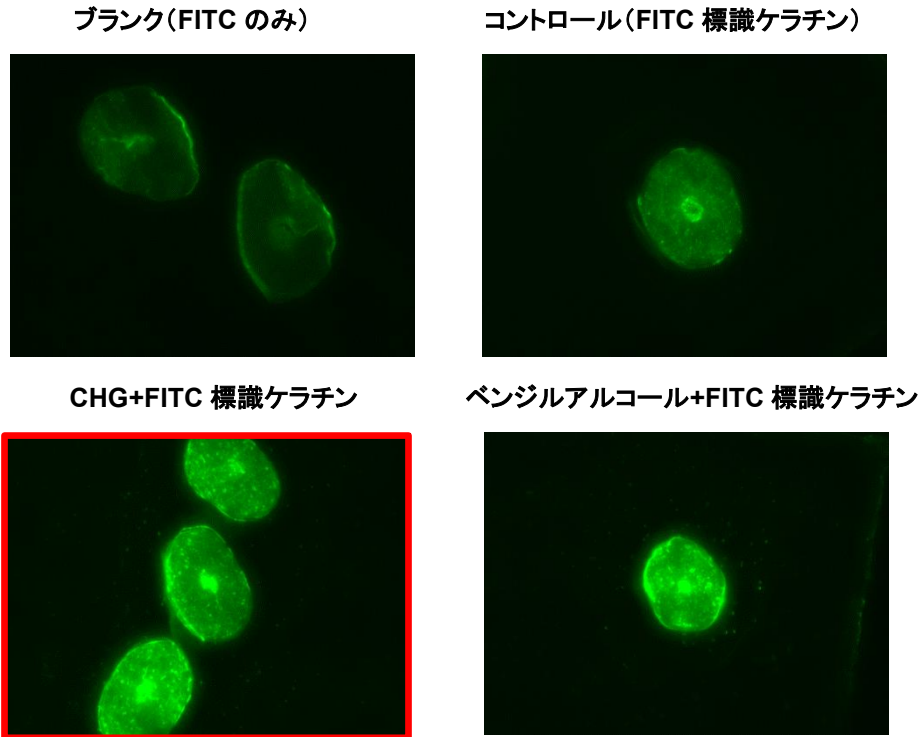
	成分	配合量 (%)
界面活性剤	ステアリン酸PEG-40	2.5
	モノステアリン酸グリセリル	2.0
油相	流動パラフィン	20.0
	ヘキサ(ヒドロキシステアリン酸/ステアリン酸/ロジン酸)	5.0
	ジペンタエリスリル	3.0
	ベヘニルアルコール	3.0
水相	1,3-ブチレングリコール	10.0
	グリセリン	2.0
	キサンタンガム	0.1
	グリコール類	1.0
	水	to 100

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■本情報の化粧品原料品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での機能効果や安全性を保障するものではありません。■本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

毛髪への有効成分の浸透補助効果

アデカノール CHG はベンジルアルコールと同等の浸透補助効果があるため、トリートメントやコンディショナー製品に有用です。

加水分解ケラチンを用いた浸透補助効果試験 :



【測定装置】 オールインワン蛍光顕微鏡 (BZ-X800(株)キーエンス製)

【観察条件】 倍率 x22.2 zoomx2.0 励起光 100 % 露光 1 s)

【試料調整】 FITC 標識化させた加水分解ケラチン (Mw750) および CHG 1% またはベンジルアルコール 1%

【測定方法】 損傷毛を試験液に 10 分間浸した後、洗浄した。乾燥した毛髪をエポキシ樹脂 (NER-814, 日新 EM(株)製) で樹脂包埋 (48hr, 常温) させた後、ウルトラマイクロームで薄片を作製し、蛍光顕微鏡で観察した。

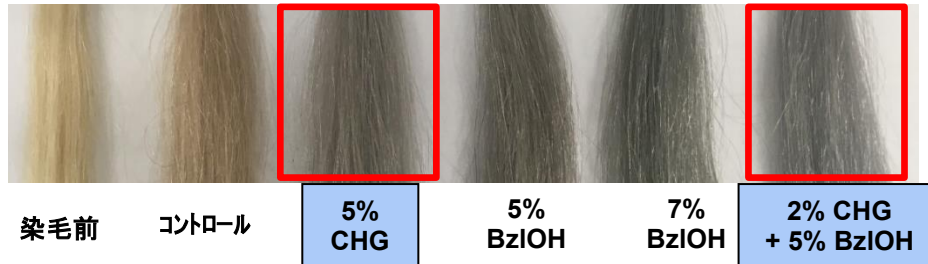
The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■ 本情報の化粧品原料品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

毛髪への染料の浸透補助効果

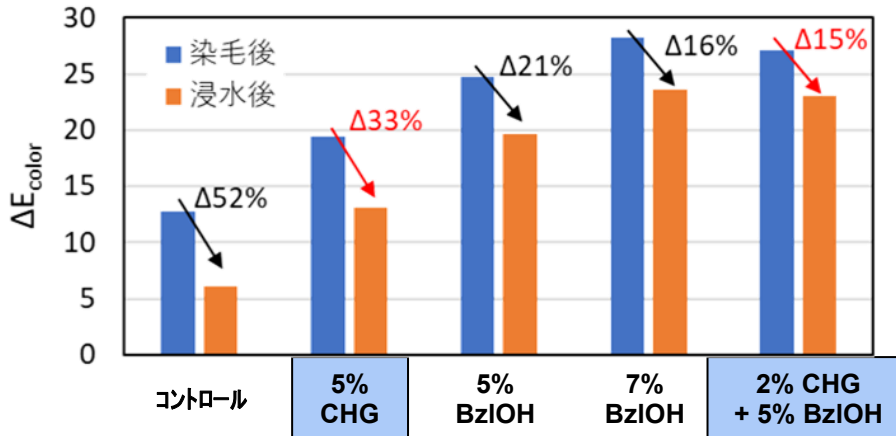
アデカノール CHG は染料の浸透補助効果、また、使用後の退色性や肌染まりを抑制する効果があります。低臭気、低刺激なので、ベンジルアルコール(BzIOH)と併用で配合、または代替品として、ヘアマニキュアやカラートリートメントに有用です。

酸性ヘアマニキュア処方(p.11)における染毛試験結果 :

①染毛後の外観



②染毛性および退色性評価 (図中数字は色差の減少率)



【試験方法】

(株)ビューラックス製人毛白髪 1.0 g に対し、評価成分を配合した酸性ヘアマニキュア 1.5 g を塗布した。10 分間静置した後、シャンプーで洗浄(40℃、1 分間)、乾燥させた。その後、毛髪の①外観および②色差を評価した。

また、染毛後の毛髪を 40℃の水に 10 分間浸漬させ、乾燥後、②色差を測定した。染毛後と浸水後の色差の減少率より、退色性を評価した。

【色差評価方法】

N = 4 で染毛試験を行った後、人毛白髪 1 束に対し 3 点、計 12 点において色差を測定した。

測定装置 : UV-vis 分光光度計(日本分光(株)製 V-770) 計算式 : $\Delta E_{color} = \sqrt{(\Delta L^*)^2 + (\Delta a^*)^2 + (\Delta b^*)^2}$

③肌染まり抑制効果

	コントロール	5% CHG	5% BzIOH	7% BzIOH	2% CHG + 5% BzIOH
肌染まり抑制効果	◎	◎	×	×	○

【試験方法】

評価成分を配合した酸性カラートリートメント 20 mg を、前腕内側部の直径 1 cm の円面積に塗布し、5 分間静置した。その後シャンプーで洗浄し、肌染まり抑制効果について 5 段階評価を行った。最も色味が薄く、抑制効果が高いものを 5 点、色味が濃く、抑制効果が小さいものを 1 点とし、3 名のパネラーによるスコアの平均値が 2 点未満のものを ×、2 点以上 4 点未満のものを ○、4 点以上のものを ◎をした。

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での機能効果や安全性を保證するものではありません。■本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

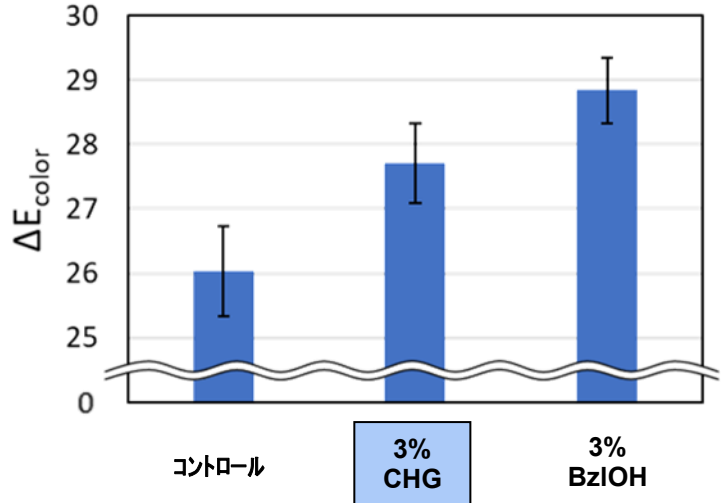
塩基性カラートリートメント処方(p.11)における染毛試験結果 :

①外観



染毛前 コントロール (浸透剤未配合) 3% CHG 3% BzIOH

②色差



【試験方法】

(株)ビューラックス製人毛白髪 1.0 g を、シャンプーで洗浄後(40℃、1 分間)、評価成分を配合した塩基性カラートリートメント 0.2 g を塗布した。10 分間静置した後、水洗(40℃、1 分間)、乾燥させた。これを繰り返し 3 回行い、毛髪の①外観および②色差を評価した。

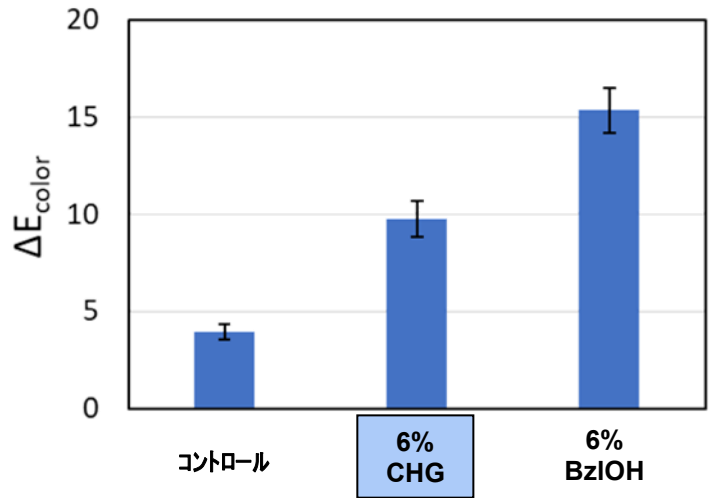
酸性カラートリートメント処方(p.12)における染毛試験結果 :

①外観



染毛前 コントロール 6% CHG 6% BzIOH

②色差



【試験方法】

(株)ビューラックス製人毛白髪 1.0 g を、シャンプーで洗浄後(40℃、1 分間)、評価成分を配合した酸性カラートリートメント 1.5 g を塗布した。10 分間静置後、水洗(40℃、1 分間)、乾燥させた。その後、毛髪の①外観および②色差を評価した。

③乳化安定性

	コントロール	5% CHG	5% BzIOH	2% CHG + 5% BzIOH
乳化安定性 (50°Cx30日間)	安定	安定	14日間で分離	安定

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement. ■ 本情報の化粧品原料に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での機能効果や安全性を保障するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

酸性ヘアマニキュア処方 :

成分	配合目的	配合量(%)
水	基剤	to 100
エタノール	基剤	20.00
キサントガム	増粘	0.50
ポリアクリレートクロスポリマー-6	増粘	1.50
アデカノール CHG またはベンジルアルコール	保湿、浸透促進	5.00
黒 401	毛髪着色剤	0.17
紫 401	毛髪着色剤	0.08
赤 227	毛髪着色剤	0.08
橙 205	毛髪着色剤	0.17
クエン酸	pH 調整	q.s.
	pH	2.5 ~ 3.5
	粘度(mPa・s)	30,000~40,000

塩基性カラートリートメント処方 :

成分	配合目的	配合量(%)
水	基剤	to 100
ヒドロキシエチルセルロース	増粘	0.20
グリセリン	保湿	3.00
塩基性青 99	毛髪着色剤	0.40
塩基性茶 16	毛髪着色剤	0.05
HC 青 2	毛髪着色剤	0.40
HC 黄 4	毛髪着色剤	0.03
ステアルトリモニウムクロリド	ヘアコンディショニング	1.80
ステアリルアルコール	粘度調整	6.50
トリエチルヘキサノイン	油性基剤	1.00
ヘキサ(ヒドロキシステアリン酸/ステアリン酸/ロジン酸)ジペンタエリスリチル	油性基剤	0.50
ジメチコン	油性基剤	1.50
テトラヒドロキシプロピルエチレンジアミン (アデカカーポール MD-100)	pH 調整	q.s.
アデカノール CHG またはベンジルアルコール	保湿、浸透促進	3.00
	pH	6.5 ~ 7.5
	粘度(mPa・s)	50,000~70,000

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.

■本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。■本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

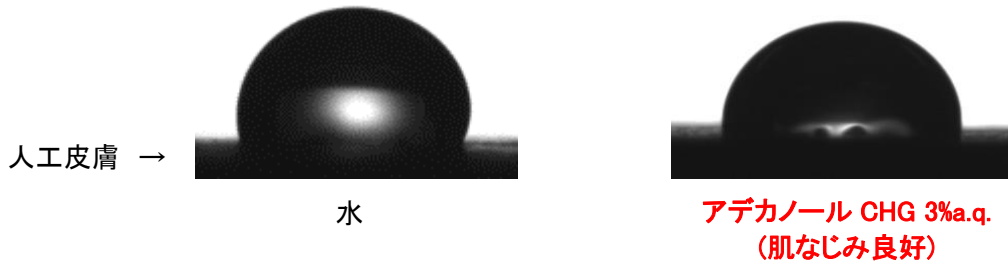
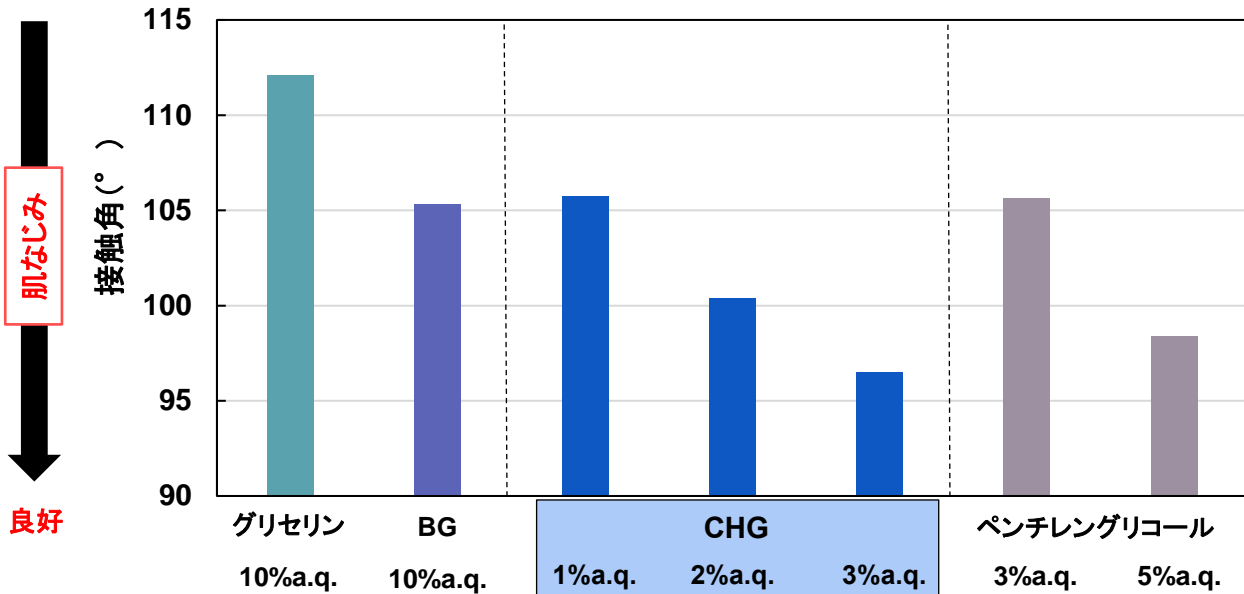
酸性カラートリートメント処方 :

成分	配合目的	配合量(%)
水	基剤	to 100
ヒドロキシエチルセルロース	増粘	0.50
DPG	保湿	2.00
黒 401	毛髪着色剤	0.02
紫 401	毛髪着色剤	0.01
赤 227	毛髪着色剤	0.01
橙 205	毛髪着色剤	0.02
クエン酸	pH 調整	0.20
ステアロイルメチルタウリン Na	乳化剤	2.00
ステアリルアルコール	粘度調整	8.00
ステアリングリセリル (SE)	乳化剤	0.50
ジメチコン	油性基剤	1.50
アデカノール CHG またはベンジルアルコール	保湿、浸透促進	6.00
	pH	2.5 ~ 3.5
	粘度(mPa・s)	30,000~70,000

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。■本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

肌なじみ改善効果

アデカノール CHG は、他の多価アルコール類よりも低添加量で「肌なじみ」を改善できます。
透明系製剤に乳液のような「肌なじみ」効果を与えることができます。



【測定方法】人工皮膚を用いた接触角測定にて、「肌なじみ」評価を行った。

【測定条件】液適法

使用機器 : 接触角計 KYOWA DMS-601
 基材 : 人工皮革サプラーレ (出光テクノファイン(株)製)
 滴下量 : 50 μ L
 解析条件 : 楕円フィッティング

※上記は人工皮膚を用いた機器評価の結果です。官能評価では、結果が異なる場合があります。

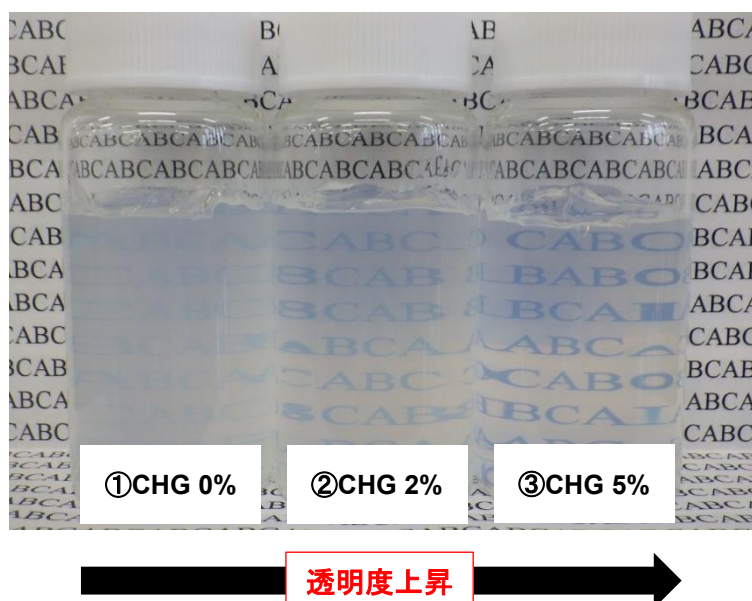
The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■本情報の化粧品原料品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効能効果や安全性を保证するものではありません。■本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

屈折率の調整

アデカノール CHG は高屈折率のため、グリセリンなどの保湿剤代替として、透明 W/Si 処方などに有用です。

	水	アデカノール CHG	グリセリン	BG
屈折率	1.333	1.479	1.474	1.440

CHG 添加量による透明度の違い :



W/Si 処方 :

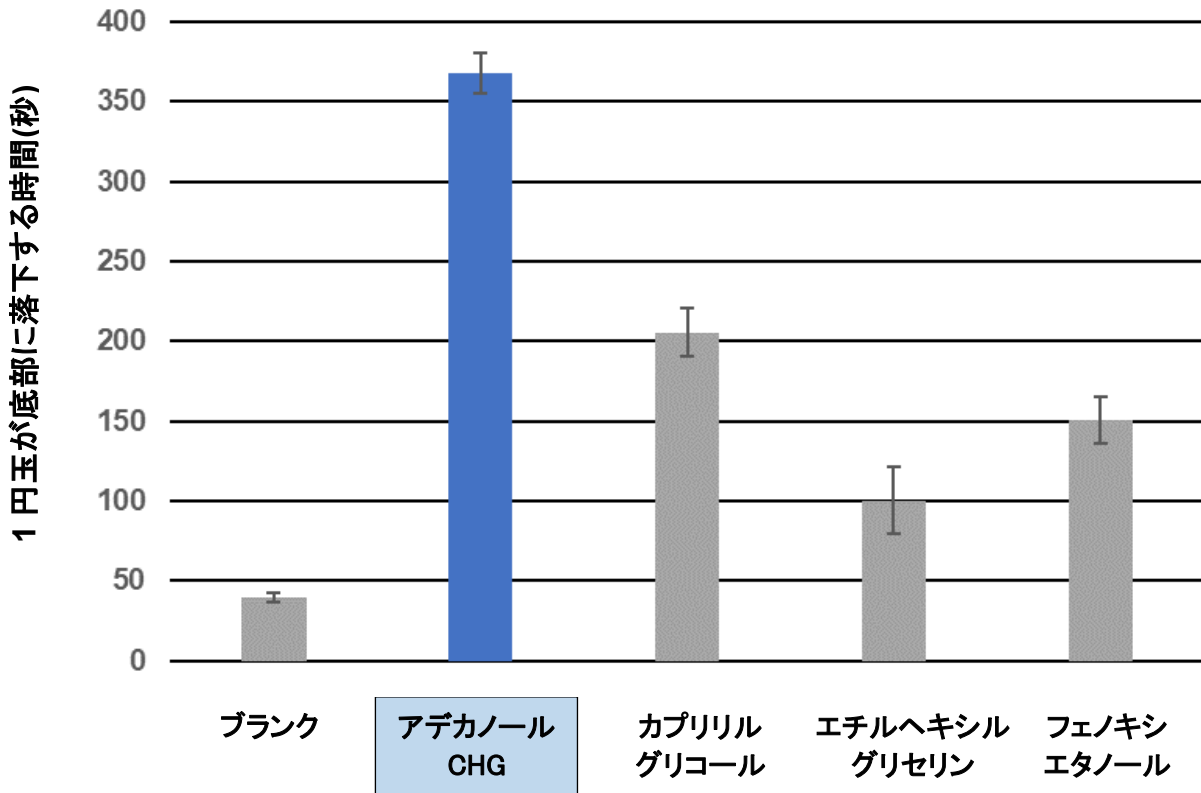
成分	配合量(%)		
	①	②	③
水	to 100	to 100	to 100
グリセリン	22.0	20.0	17.0
BG	15.0	←	←
エタノール	5.0	←	←
アデカノール CHG	-	2.0	5.0
塩化Na	1.0	←	←
クエン酸	0.05	←	←
クエン酸Na	0.2	←	←
ジメチコン	10.0	←	←
シクロペンタシロキサン PEG/PPG-19/19ジメチコン	8.0	←	←
粘度(mPa·s)	170,000	200,000	203,000

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。■本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

増泡効果

アデカノール CHG は、洗浄処方において他のグリコールや防腐成分よりも起泡力に優れ、きめ細かくコシの強い泡質を提供します。

【泡質試験】



【試験方法】 試験成分を 0.5wt% 配合したアニオン系シャンプー処方 33.3wt% 水溶液 40mL を 10 秒泡立て(25°C 20000 rpm)、50mL ビーカーに擦り切れで入れ、1 円玉を手早く泡上部に静置させ、ビーカー底部に落下するまでの時間を N=4 で測定した。

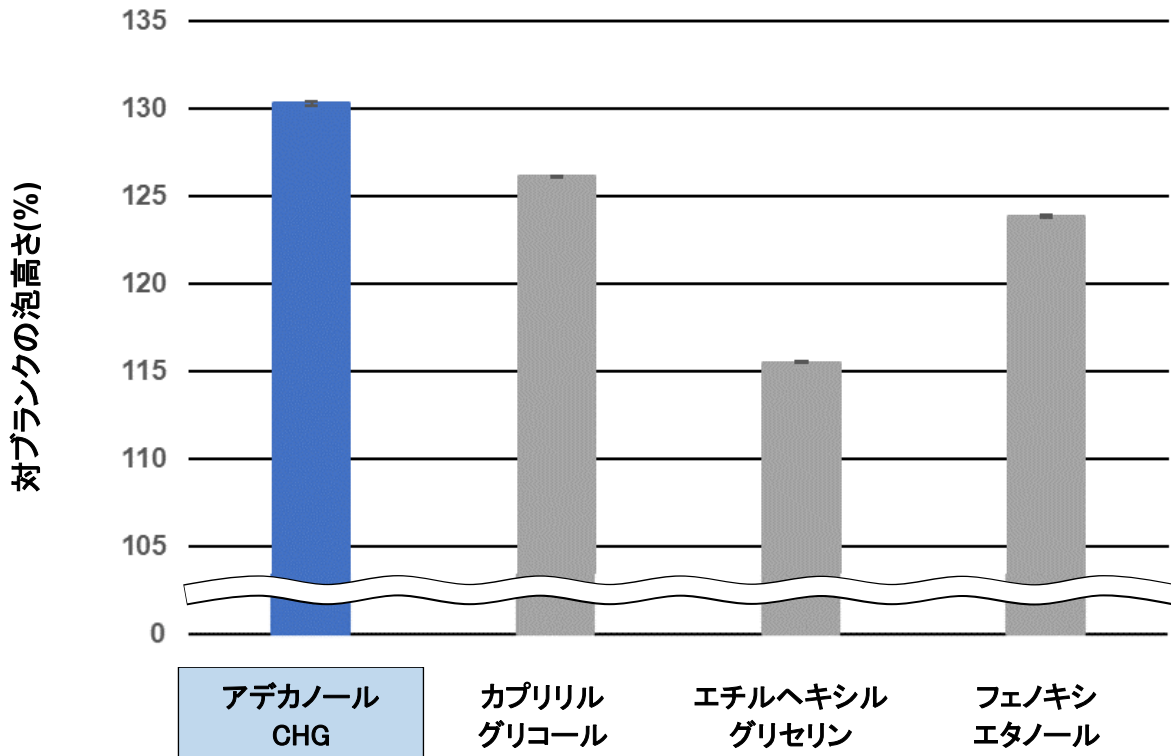
【泡質観察】



【試験方法】 試験成分を 0.5wt% 配合したアニオン系シャンプー処方 33.3wt% 水溶液 40mL を 10 秒泡立て(25°C 20000 rpm)、50mL ビーカーに擦り切れで入れ、1 円玉を手早く泡上部に静置させ、30 秒後に観察した。

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■ 本情報の化粧品原料品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

【起泡力試験】



【試験方法】試験成分を 0.5wt% 配合したアニオン系シャンプー処方 33.3wt% 水溶液 40mL を 10 秒間泡立て(25°C 20000 rpm)、1 分静置後の泡高さを N=4 で測定した。

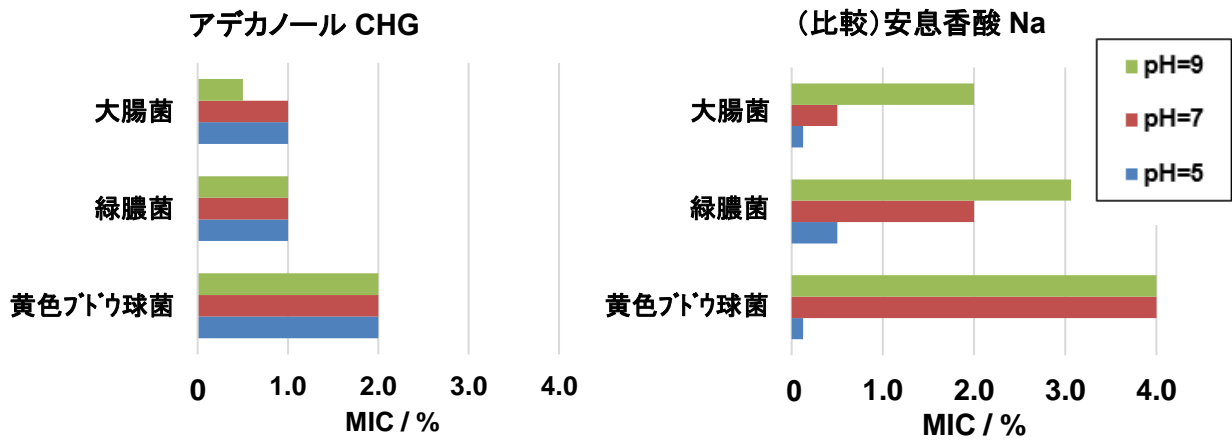
アニオン系シャンプー処方:

成分	配合量(%)
ラウレス硫酸 Na	8.1
ラウラミドプロプルベタイン	7.5
グリコール類	0.5
ココミドメチル MEA	0.5
ポリクオタニウム-6	0.4
グアーヒドロキシプロピルトリモニウムクロリド	0.2
試験成分	0.5
水	to 100

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■ 本情報の化粧品原料品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効能効果や安全性を保障するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

pH 依存性

アデカノール CHG の最小発育阻止濃度(MIC)は、pH の影響を受けません。



The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■ 本情報の化粧品原料品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

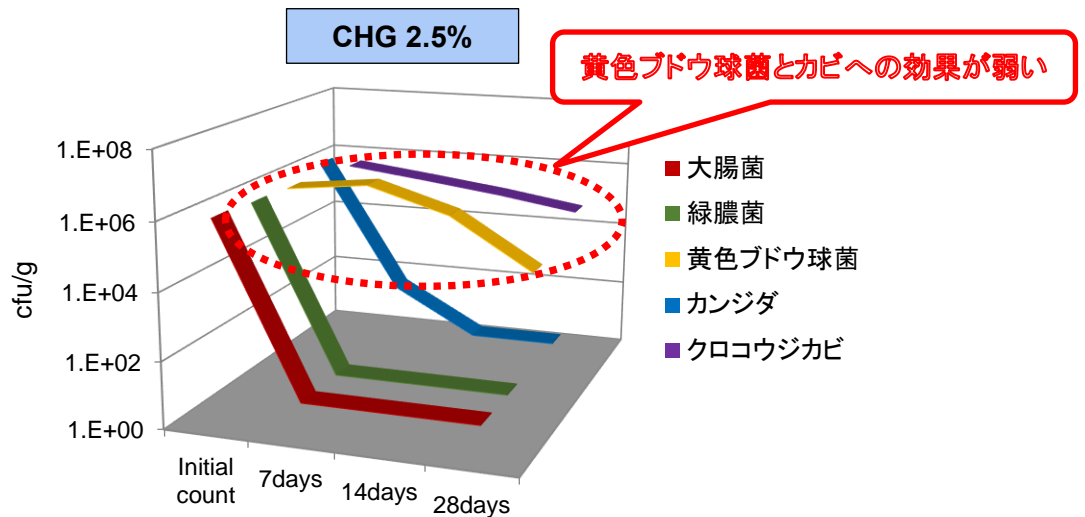
保存効力試験

【化粧水処方】

アデカノール CHG は、多価アルコール類やフェノキシエタノールなどと併用することで、相乗効果を示します。

評価基準適合濃度 :

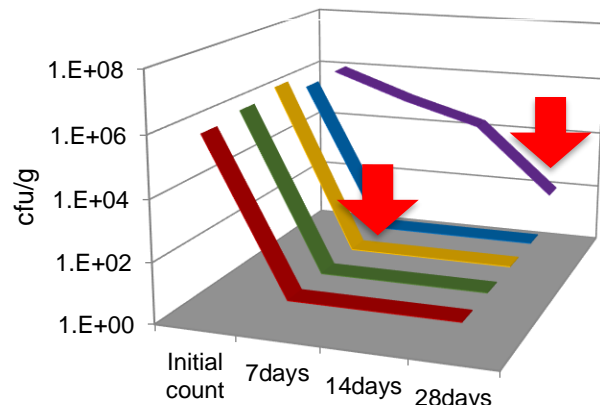
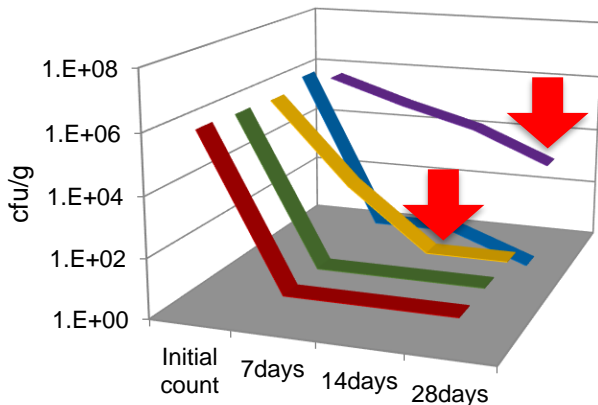
	アデカノール CHG	ペンチレン グリコール	ヘキササン ジオール	BG	DPG
大腸菌	1.5%	<1.0%	1.5%	15.0%<	15.0%
緑膿菌	1.0%	<1.0%	<1.0%	10.0%	<5.0%
黄色ブドウ球菌	3.0%<	<1.0%	1.5%	15.0%<	10.0%
カンジダ	2.0%	2.5%	1.5%	15.0%	15.0%
クロコウジカビ	2.5%<	3.0%	2.5%	15.0%<	15.0%<



併用時の相乗効果 :

CHG : DPG = 2.5% : 10.0%

CHG : フェノキシエタノール : BG
= 1.1% : 0.9% : 5.0%



黄色ブドウ球菌とカビへの効果が増強

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■ 本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での機能効果や安全性を保證するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

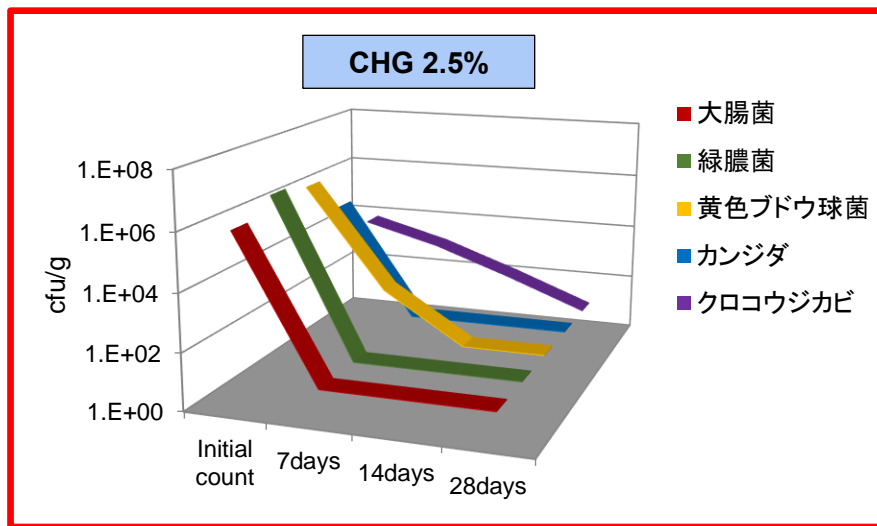
保存効力試験

【クリーム処方】

アデカノール CHG は、BG 等の防腐補助効果のある多価アルコール類よりも、低添加量で効果が得られます。

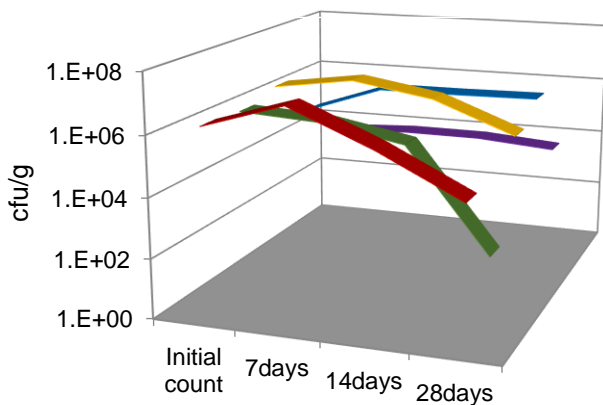
評価基準適合濃度 :

	アデカノール CHG	ペンチレン グリコール	ヘキサン ジオール	BG	DPG
大腸菌	1.5%	2.0%	<1.5%	5.0%<	5.0%<
緑膿菌	1.0%	1.5%	<1.5%	5.0%<	5.0%<
黄色ブドウ球菌	3.0%<	2.5%<	2.0%	5.0%<	5.0%<
カンジダ	2.0%	2.5%	1.5%	5.0%<	5.0%<
クロコウジカビ	2.5%<	2.5%<	2.0%	5.0%<	5.0%<

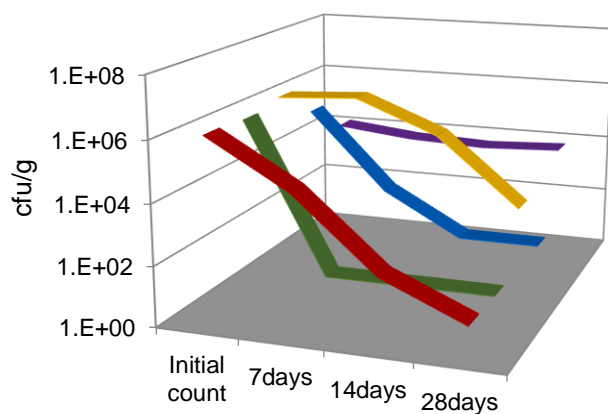


比較例 :

BG 5.0%



ペンチレングリコール 2.5%

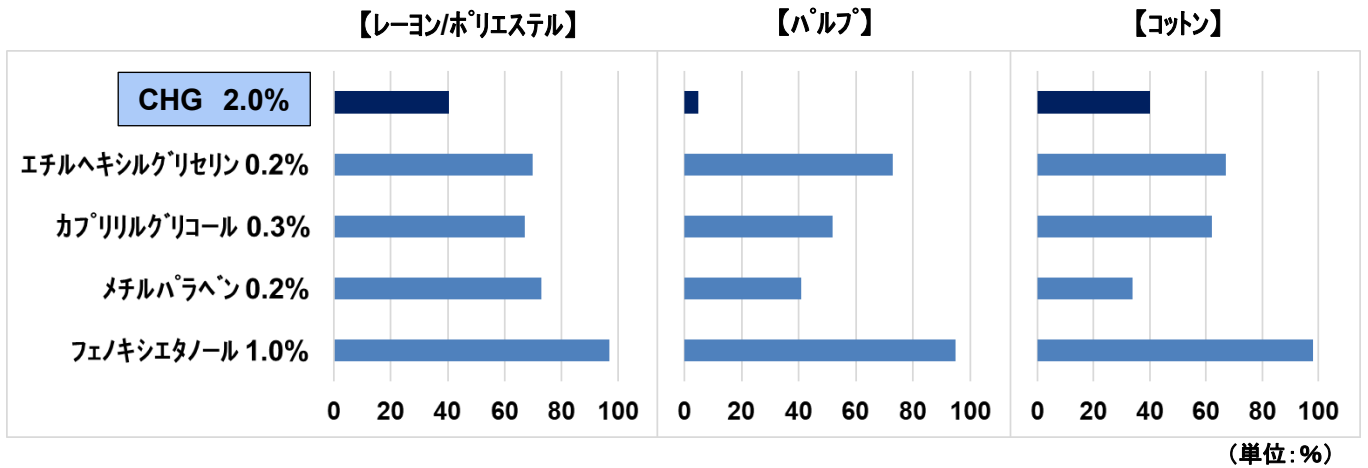


The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■ 本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での機能効果や安全性を保障するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

不織布製品への有用性

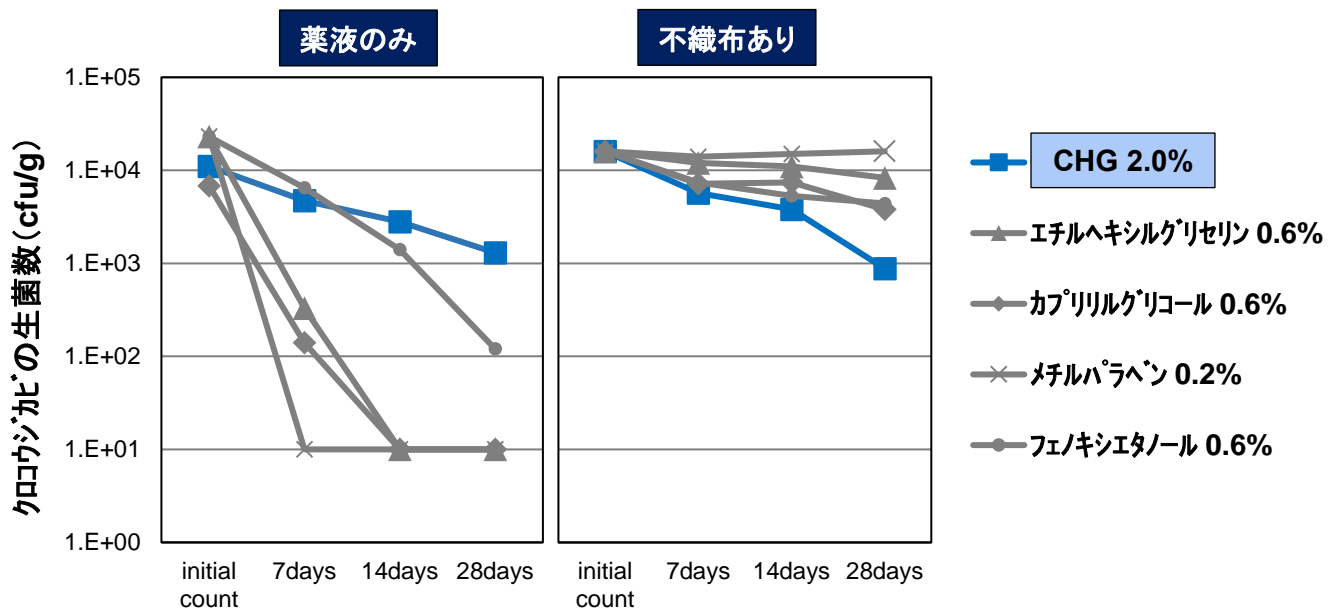
アデカノール CHG は、不織布に吸着しにくいので、添加量を増量することなく菌への効果が得られます。

不織布への吸着量 :



【測定方法】 試験成分の水溶液を、各不織布に2週間含浸させた後、絞り液中の成分量をガスクロマトグラフィーで測定し、不織布への吸着量を算出した。

保存効力試験 :



【試験方法】 不織布(ポリエステル)に対し、4倍重量のフェイスマスク処方を含浸させ、一定量の菌液を接種した後の生菌数を測定した。

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement. ■ 本情報の化粧品原料品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での機能効果や安全性を保障するものではありません。■ 本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。

保存効力試験詳細

化粧品処方、クリーム処方は、「第十七改正日本薬局方」「ISO11930」の保存効力試験及び試験基準を参考に、各処方に菌種を強制的に接種し、生菌数を測定した。

フェイスマスク処方の試験は公定法が無い為、弊社独自試験法にて実施した(前項参照)。

試験処方 : キサントガムや水添レシチン、ヒアルロン酸 Na 等の栄養素を含む防腐困難な処方で実施。

化粧品	
成分	配合量(%)
グリセリン	5.0
テトラオレイン酸ポリオキシエチレンソルビット(30EO)	0.5
グルタミン酸	0.5
(アクリレート/アクリル酸アルキル(C10-30))クロスポリマーNa	0.1
キサントガム	0.1
乳化剤 ¹⁾	0.05
試験成分	0.9~12.5
水	to 100

1) 水添レシチン、大豆ステロール

クリーム	
成分	配合量(%)
トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル	10.0
ミネラルオイル	10.0
ステアリン酸グリセリル(SE)	4.0
セテアリルアルコール	2.0
グリセリン	2.0
カルボマー	0.1
キサントガム	0.1
試験成分	1.5~5.0
水	to 100

フェイスマスク	
成分	配合量(%)
グリセリン	8.0
BG	5.0
カルボマー	0.1
EDTA-2Na	0.1
水酸化Na	0.02
ヒアルロン酸Na	0.01
試験成分	0.2~2.0
水	to 100

評価基準 :

細菌類(大腸菌、緑膿菌、黄色ブドウ球菌) 酵母(カンジダ)	14日後: 接種菌数の0.1%以下 28日後: 14日後と同等、もしくはそれ以下
真菌(クロコウジカビ)	28日後: 接種菌数の10%以下

以上

The descriptions of the products of cosmetic ingredients in this information are the characteristics of cosmetic ingredients, and the experimental data are measured values as cosmetic ingredients. And it does not guarantee the efficacy or safety of the finished cosmetic product. Please be careful not to quote or reproduce the advertisement.
 ■本情報の化粧品原料製品に関する記載内容は、原料としての特性であり、実験データは化粧品原料としての測定値で、最終製品での効果効果や安全性を保障するものではありません。■本情報内容の広告物への引用・転載についてはご注意ください。